

銀杏坂

～輝く薩摩中央～

令和7年5月26日（月）南日本新聞

令和7年5月26日(月)付南日本新聞12面に宮之城中学校との交流会についての記事が掲載されましたので、紹介します。

宮之城 3年生 高校の授業体験

薩摩中央高

さつま町宮之城屋地の宮之城中学校3年生152人が、同町虎居の薩摩中央高校で4学科の授業を体験した。町内には中学校と高校がそれぞれ1校しかなく、中学生の進路選択の一助になるよう高校側が協力した。

22、23日にあり、中学生は果樹園や牛舎をはじめ、中学校にはない施設を見学。23日は農業工学科の授業で、食品の品質管理に使う糖度計を使って4種類のジュースの甘さを調べた。福祉科では高校生が案内役

を務め、ベッドから車いすへの移動時に負担を減らすスライディングボードなど福祉用具を体験した。

宮之城の中の新田健琉さんは「果樹栽培に興味を持った。高校生が優しく協力的で、雰囲気の良い学校だと感じた」と話した。

（山田天真）



薩摩中央高校生から福祉用具の使い方を学ぶ宮之城中学校3年生。23日、さつま町虎居